



## 春にさく花

※「大きさ」は植物全体の長さを表す。

春先、雪がとけてなくなっただ後にすぐにさく花があります。これらの花は、木々が葉を広げる前の明るい森の中で花をさかせて虫をよび、実をつくりまします。色あざやかな花たちをさがしてみましよう。

### フクジュソウ

**場所** 自然林の林内

**時期** 4~5月

**大きさ** 10~30cm程度

- ♪春先まっさきにさく花。
- ♪光沢のある濃い黄色の花が目立つ。
- ♪葉は細かくギザギザがあり、花が終わったところに広がる。



### ミズバショウ

**場所** 自然林内の湿地

**時期** 4~5月

**大きさ** 30cm程度

- ♪湿地に生育する。
- ♪大きな白い部分は花をおおう「苞(ほう)」とよばれる部分。
- ♪花が終わった後に、葉がのびて巨大になる。



### ザゼンソウ

**場所** 自然林の林内

**時期** 4~5月

**大きさ** 10~20cm程度

- ♪ミズバショウと同じサトイモ科の植物だが、花は小さい。
- ♪苞(ほう)はえんじ色。

## 🍷 エンレイソウ ★

**場所** 自然林の林内

**時期** 4~5月

**大きさ** 10~30cm程度

- ♪花は花びらがなく、えんじ色のがくが3枚つく。
- ♪葉は3枚つく。



果実



## 🍷 オオバナノエンレイソウ ★★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5~6月

**大きさ** 30cm程度

- ♪花は大きな白い花びらが3枚つく。
- ♪雑種でいろいろな形の花びらのものが知られる。
- ♪北海道大学の校章のデザインに使われている。



花がつかない若い株



## 🍷 ミヤマエンレイソウ ★★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5~6月

**大きさ** 30cm程度

- ♪シロバナエンレイソウともよばれている。
- ♪オオバナより花弁は細く、とがっている。花はやや横向きにつく。



### 🍷 主なエンレイソウのなかまの見分け方

オオバナノエンレイソウ

ミヤマエンレイソウ

エンレイソウ



- ♪花びらが大きい
- ♪おしべが長い

雑種

雑種

- ♪花びらが長い

- ♪おしべが短い



シロオイエンレイソウ



ヒダカエンレイソウ

- ♪花びらが赤い



- ♪エゾエンゴサクなども混じって花をさかせる。

# 初夏にさく花

※「大きさ」は植物全体の長さを表す。

春から初夏にかけて、野山にはさまざまな花がさきます。ここではその中から、市内の緑地などで見られる白いユリのなかまとスミレのなかまを紹介します。

## スズラン ★★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5～6月

**大きさ** 20～35cm程度

♪東部の緑地などで見られるが日陰ではさいていないことも多い。

♪花が葉より高くならない。

♪手稲区富丘西公園の群生地は、地域住民による保全活動が行われている。

♪葉の裏に光沢がない。



### にている種

#### ドイツスズラン (園芸種) ★

♪庭や公園に植えられているのはこちら。

♪花はたくさんつき、葉よりも高くなることもある。

♪葉の裏に光沢がある。毛はない。



♪公園名にもつけられている滝野すずらん公園のドイツスズラン。

## オオタチツボスミレ ★★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5～6月

**大きさ** 15～25cm程度

♪花は葉の付け根につく。

♪地上部に茎があり、大きくなる。

♪葉の付け根にギザギザの托葉(たくよう)がある(➡)。

♪花の後ろの距(きょ)が白い(➤)。



## ツボスミレ ★★★

**場所** 草地、林のふち

**時期** 5～6月

**大きさ** 5～20cm程度

♪花は小さく白い。

♪下の花びらに紫のスジがある。

♪茎がのびながら花がさく。





★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

## オオアマドコロ

★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5~6月

**大きさ** 40~75cm

♪花は1~3個ずつ、葉の付け根にぶら下がる。

♪つつ型の花にはマルハナバチがおとずれる。



## ホウチャクソウ

★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5~6月

**大きさ** 30~60cm

♪花は1~3個ずつ、茎の先につく。花びらが重なったような形をしている。

♪茎は枝分かれます。



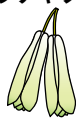
### 白いユリのなかまの見分け方

オオアマドコロ



♪花は葉の付け根にぶら下がる。  
♪茎は枝分かれない。  
♪全体に大きい。

ホウチャクソウ



♪花は茎の先のみにつく。  
♪茎が枝分かれます。

ワニグチソウ



♪花の付け根に2枚の苞(ほう)がある。  
♪茎は枝分かれない。

チゴユリ



♪花は茎の先のみにつく。  
♪花びら6枚に分かれる。

## ミヤマスマレ

★★★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 5月

**大きさ** 10cm程度

♪背が低く、花の色が濃い紫色。

♪ハート形の葉が地ざわから出る。



**にている種** スミレサイシン



★★★★

♪花が大きく、早い時期にさく。  
♪円山など西部で見られる。



◆地上部に茎がある

### ✂ 主なスマレのなかまの見分け方

オオタチツボスマレ



アイヌタチツボスマレ



♪地上に立つ茎があるか、花びらに毛があるかなどで見分けます。

ツボスマレ



タチツボスマレ



◆地上部に茎がない

ミヤマスマレ スミレサイシン





## 夏や秋にさく花

※「大きさ」は植物の高さを表す。

夏から秋にかけてさく花から、よく目立つ花6種を紹介します。

### オオウバユリ ★

**場所** 自然林や緑地

**時期** 7月

**大きさ** 開花する株は約150cm

♪高い茎にラッパ型の白い花を多数つけるため、森の中で目立つ。

♪何年もかけて栄養をたくわえて花をさかせ、タネをつくると枯れてしまう。



### キツリフネ ★★★

**場所** 林内や林のきわの湿ったところ

**時期** 7~9月

**大きさ** 約70cm

♪ふねの形をした花が、つりさがるようにつく。

♪一年草でまとまって生える。

♪花にはエゾトラマルハナバチがミツをすいにおとずれる。

♪実はさわるとはじけて、タネが飛び出す。



### エゾトリカブト ★★★

**場所** 自然林の林内や林のきわ

**時期** 8~10月

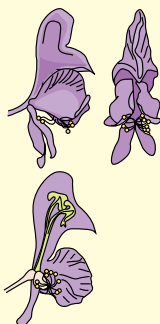
**大きさ** 約70~150cm

♪かぶとのような形をした花。花びらに見えるのは、「がく」が変化したもの。

♪花にはマルハナバチ類がおとずれる。

♪葉はギザギザに深くさけている。

♪草全体に強い毒があるので注意。





## クサフジ



★★

**場所** 林のふちの草むらや河原の草むら

**時期** 7~8月

**大きさ** 約100~150cm



- ♪ つる植物で、まきひげで他の植物にからまっている。
- ♪ 葉は細かく分かれて羽状。
- ♪ 小さい紫色の花がふさ状にまとまってつく。
- ♪ 花の入口はとじていて、マルハナバチ類があけてミツをすう。



## オオハンゴンソウ



★

外来種

**場所** 林のふちや道ばた、河原など

**時期** 8~9月

**大きさ** 約150~200cm

- ♪ 北アメリカ原産で、道ばたなどにびっしりまとまって生える。
- ♪ 花の中心がもりあがっていて、小さい花(筒状花)が集まってさく。
- ♪ 花にはマルハナバチ類やチョウ類がおとずれる。



※外来生物法に基づく「特定外来生物」に指定され、タネや生きたままの根の移動は禁止されています。

## ツリガネニンジン



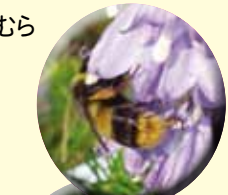
★★★★

**場所** 自然の草原や湿った草むら

**時期** 7~8月

**大きさ** 約40~100cm

- ♪ 4~5枚の葉が車輪状につく。
- ♪ 茎の先にまとまって花がつく。花はうす紫色のつりがね形で、名前の由来にもなっている。
- ♪ 花にはマルハナバチ類がおとずれる。







## 草やつるにつく実

※「大きさ」は植物全体の長さを表す。

秋は実のなる季節。草やつるにつく目立つ実をさがしてみましょ。目立つ実、いいにおいの実は、動物たちをひきつけて食べさせ、タネを運ばせます。

### コウライテンナンショウ (マムシグサ)

**場所** 自然林の林内

★★

**時期** 9~10月

**大きさ** 約30~100cm

♪卵ぐらいのかたまりに赤い実がたくさんつく。地がえんじ色で実が目立つ。

♪小さいときは雄株だが、大きくなると雌株へと「性転換」する植物。

♪実は鳥が食べ、中のタネが運ばれる。人にとっては有毒なので注意。



### ツルリンドウ



★★★★

**場所** 自然林の林内や林のきわ

**時期** 9~11月

**大きさ** 長さ約40~100cm

♪つる植物で、地面を這ったり、ほかの植物にからみつく。

♪長い柄の先に、1~2cmの大きさの赤い実をつける。2個ずつ付くことが多い。

♪地面すれすれに実があることが多い。



### トチバニンジン



★★★★

**場所** 自然林の林内

**時期** 8~9月

**大きさ** 約50~80cm

♪葉は手のひら状で5枚に分かれる。

♪赤い小さな実があつまってつく。鳥が食べて、タネを運ぶ。

♪「朝鮮人参」と近いなかまで、根が薬として利用されている。

♪市内では西部や南部に多く見られる。



葉の形



## コクワ／マタタビ／ミヤママタタビ

**場所** 林内や林のふち

**時期** 9～10月

**大きさ** 高さ約2～10m  
※からみつく木により異なる



熟したコクワ



コクワ (サルナシ) 🍌 ★★★

♪ つる植物で、木にからみつきながら大きくなる。実は2cm程度の大きさ。

♪ コクワの実は丸く、マタタビは細長く先がとがる。ミヤママタタビは細長い。

♪ あまいにおいてほ乳類を引きつけ、タネを運ばせる。

♪ キウイフルーツに近いなかまで、食べるととても甘い。



熟したマタタビ



マタタビ 🍌 ★★★



ミヤママタタビ 🍌 ★★★

## ヤマブドウ



★

**場所** 林内や林のふち

**時期** 9～10月

**大きさ** 高さ約2～10m  
※からみつく木により異なる

♪ つる植物で、まきひげで木にからみつきながら大きくなる。

♪ 秋には葉が真っ赤に紅葉する。

♪ 実は1cmほどで青紫色になる。ほ乳類が食べて、タネが運ばれる。



若い実



## 指ガマ



★★★

**場所** 川沿いや池、湿った水辺

**時期** 8～10月

**大きさ** 約150～200cm

♪ アメリカンドックのような形をした実が茎の先につく。長さ10～20cm程度。

♪ 熟すと実がはじけて、白毛がついた小さいタネが風によって運ばれる。



タネ





# 木の実のなかま

※「大きさ」は実の長さを表す。

秋に木々につく実、地面に落ちている実にも面白い形のものがいろいろあります。

## ミズナラ ★

**場所** 自然林や公園でよく見られる

**時期** 9~10月

**大きさ** 約3cm

**にている種** コナラ・カシワ



♪たくさんなる年とまらない年がある(豊凶)。

## コナラ ★★★★★

♪実とは細長くて小ぶり、たてじまが目立つ。  
♪葉は柄がある(➡)。



**場所** 東部の清田区や厚別区に多い

**大きさ** 約2~3 cm

## カシワ ★★★★★

♪実とは丸く、ぼうしがそり返っている(➡)。  
♪葉は厚く、丸みのあるギザギサ。



**場所** 市内では藻岩山や円山など

**大きさ** 約3 cm



♪青い実はウメのような形。  
♪果肉はかぶれることがあるので注意。  
♪ふさ状につく。



## オニグルミ ★

**場所** 自然林のふちや川沿いの林

**時期** 7~9月

**大きさ** 約3cm

♪葉は羽状で毛が生える。



♪地面に落ちて、外側の果肉がくさると、かたいカラに入ったおなじみの実が残る。リスやネズミが好んで食べる。

## ツノハシバミ ★★★★★

**場所** 市内西部の山地の自然林

**時期** 9~10月

**大きさ** 約3~4 cm

♪ひょうたんのような形。  
♪表面は毛でフサフサ。



♪高さ4m程度の低木。

## ホオノキ ★★

**場所** 広葉樹の林

**時期** 9~10月

**大きさ** 約15~20cm



♪ 大きな実。初めは緑色で、赤く熟す。



♪ 熟すと実がわかれて、赤いタネが出てくる。

## キタコブシ ★★

**場所** 広葉樹の林、公園など

**時期** 9~10月

**大きさ** 約5~8cm



♪ 緑色から赤く熟す。

♪ 熟すとオレンジ色のタネが出る。

## ヤマグワ ★

**場所** 林のふちや川沿いの林

**時期** 7月

**大きさ** 約1~2cm



♪ トゲのようなものは、めしへのあと。

♪ 熟すと赤から黒になる。

## カツラ ★★

**場所** 川のそばの広葉樹林

**時期** 9~10月

**大きさ** 約1~2cm



♪ 枝に付いている。

♪ 中には小さいタネがたくさん。

## ツリバナ ★★

**場所** 自然林や公園

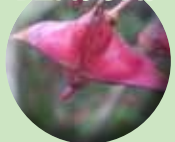
**時期** 9月

**大きさ** 約1cm

にている種

コマユミ

ヒロハツリバナ



♪ 2つに割れるタネは1個。

♪ 4つにとがった手裏剣の形。



♪ 球状の実がくす玉のように5つにわれ、オレンジ色のタネが出る。

